



「砂まみれ」の先に

～ “この夏の体験と感動”を“思い出深い学び”へ ～

大龍小学校 校長 福田 裕生

誰もが幼いころに一度は経験したことのある砂遊び。先日は、1年生の子どもたちが砂と泥にまみれ、遊びに興じていました。



実はこの砂遊びに、たくさんの教育的効果があることをご存じですか？ その前に、砂場の始まりを紹介しておきましょう。

アメリカのボストン市内で医者として働いていたドイツ生まれの女性、ザクルシェフスカさんは、ボストン市内のスラム街で毎日のようにケンカや犯罪が横行していることを心配していました。「こんな悪い環境の中で育つ子どもたちを何とかしてあげたい」と思っていた彼女は、ふと、昔のドイツベルリン市内の光景を思い出します。それは、ベルリン市内の街角に砂を盛った場所が作っており、子どもたちが自由に遊べる場として提供されていた光景です。

早速、彼女は行政機関に強く働きかけました。そして1885(明治18)年、ボストン市ノースエンド地区に「砂を盛った場所」が設置されたのです。するとどうでしょう。その場所は子どもにも大人にも大人気になりました。穴を掘り、山を作り、歌を歌い、砂まみれになって遊びに遊んで、夕方スカッとした顔で帰っていく子どもたち。問題行動は激減し治安も安定してきました。

これを見た大人たちは、砂場の教育的効果を認識し始めたのです。今から130年以上も昔の話です。今でもアメリカボストン市内のパーマンターストリートには、「砂場発祥の地」という表示板があるそうです。ちなみに日本では明治30年代以降に幼稚園を中心に導入され始めたようです。

(児童心理学者 倉橋惣三氏が提唱)

手のひらと指先の感覚を敏感に働かせながら砂と水をほどよく調合し、核となる砂の塊をつくる。両手で転がし丸めながら、さらさらの砂をまぶしては両手で磨くことを繰り返しお気に入りの砂団子をつくりあげ、「ほらっ」と誇らしげに差し出す笑顔。

数人で砂を盛り山を作り、別の友達がトンネルを掘り川を作り、また別の子が水を流し込み、手を叩いて喜ぶみんなの笑顔。

砂遊びには、集中力と努力、試行錯誤と見通し、協力と貢献などの精神性、さらには教科学習の根底となる要素も多く含まれていることを見逃してはなりません。

たかが砂遊び。されど、そこには子どもの成長や心身の発達はもちろんのこと、遊びの環境を見直す意外かつ重要な側面を見出すこともできます。130年以上も前、ボストン市のスラム街に砂場を設置することに貢献したケイト・ガネット・ウェルズさんの言葉が残っています。「砂まみれ、泥まみれで遊ぶのは、子ども時代の特権である」。かつてドイツには、「砂は最良のエデュケーター(教育者)」という言葉もあったそうです。

先日の1年生生活科の砂遊び・泥んこ遊び。また6年生総合的な学習では、西郷隆文さんを講師に招き陶芸教室。土をこね、好きな形を作り、焼き物として仕上げるという学習へとつなげます。



砂まみれ、泥まみれ、土まみれ、そして汗まみれ。夢中になってまみれた後の爽快感や達成感。この経験が将来の進路や職業にもつながることは、容易に想像できます。手や体が、砂・泥・土・汗にまみれたからこそ、その後に手や体を洗うという習慣も身に付くのです。子ども時代の「砂まみれ効果」を再評価し、とっぷりと経験させたいものです。えっ、ゲームまみれ？ それは勘弁してもらいましょう。

いよいよ夏休み。砂・土・泥まみれ、そして汗まみれをたっぷり体験できるチャンスをつくってみませんか。そんな様々な“まみれ体験”が感動を生み、その感動が子どもの感性を育むことにつながるのです。健康や安全への気遣いや注意は当然のことです。御家族皆さんにとってのこの夏の体験と感動が、素敵な思い出深い学びへと変わることを願っています。

第1回「学校評議員会」及び「揺るぎない信頼確立委員会」
【実施日】7月6日(金)9:30～12:30

本年度は、次の6名の地域の方々に学校評議員を委嘱しました。

- ・ 校区まちづくり協議会委員長 古江 尚子さん
- ・ 地区社会福祉協会会長 上村 伸雄さん
- ・ 地区民児協会会長 堀之内伊楚美さん
- ・ 大龍校区主任児童員 石原 隆子さん
- ・ 大龍児童クラブ主任児童委員 宮原智美子さん
- ・ 大龍小学校PTA会長 山下 忍さん

評議員の皆様には、まず、学校長が学校経営についての説明を行いました。その後、職員室において本校職員の紹介を行い、3校時の授業参観をしていただきました。

評議員の皆様からは、学習態度や学習環境面で高い評価をいただきました。いただいた感想、意見は下記のとおりです。

学校ではいただいたこれらの貴重な御意見を、今後の学校経営に生かしていきたいと思っております。

- 靴、傘、雑巾がきちんと揃えてあった。留守教室の椅子と机がきちんと整頓され、机上には次の時間の教科書が置かれていた。素晴らしいと思った。
- 図書館の設営や本の紹介がとても充実していると思った。図書館で勉強する子どもの様子を見るのは初めてだったが、始まりのあいさつをきちんとして楽しそうに本を選んでいった。本好きの子どもが増えて欲しい。
- 授業をされる先生の声の大きさや話し方で、子どもたちの表情や活動が変わっていく様子を見ることができた。ノートの書き方も丁寧であった。
- 全校朝会で、民生委員や交通指導員を紹介していただき大変嬉しかった。雑巾を提供された老人会のことを学校便りで紹介してくださり、その後、子どもたちからのお礼の手紙も届けていただき、老人会の方々是非常に喜んでおられた。
- 若宮神社の六月燈(7月9日・月)、南洲神社の六月燈(7月17・18日・火・水)に、あいご会の子どもたちが作製した燈籠が飾られる。是非、見てもらいたい。
- 各クラスとも室内が整頓され、掲示物も子どもの個性を生かして展示してあった。先生方は個性に満ちあふれた子どもたちに分かりやすい授業をされていた。子どもが感じ取り気付いたことを、自分なりの言葉で表現する素晴らしさに感動した。たとえ、いじめ等があったとしても、心の中で思っていることを自分の言葉で話すことができるようになると、いじめ等の解決にもつながり、いじめもなくなるかなあと思った。
- 砂遊びは、子どもたちがいきいきとして活動していた。砂や土に触れる遊びや活動は大事にした方が良かった。素晴らしい一日になった。
- 玄関・廊下・教室等、きれいに整理整頓されていた。先生方が、子どもに寄り添ってとても熱心に指導されていると思う。子どもたちも落ち着いた環境で授業がなされていた。
- 環境面や教職員の児童へのかかわり方など、良くなっているように感じた。
- 以前からすれば、箒・傘・雑巾等がきれいに整頓されていて気持ちが良かった。授業を参観することは出来なかったが、歩こう会での子どもたちの発表を見るのびのびと成長しているように感じる。
- 服務規律や業務改善の取組については必要なことと思うので、地域へも是非ご相談ください。
- 給食がおいしかった。栄養のバランスを考えて、食べやすさや見た目等も工夫されて調理されていることに感心した。
- 廊下ですれ違う際に、自分から元気な挨拶をする子どもと黙って通り過ぎる子どもがいたので、今後、全校で取り組んでいけるといいのではと感じた。
- 学校が新たなチャレンジをし、取組を積極的に発信してくださり、それをマスコミなどでも取り上げられるのは、校区民として非常に嬉しい。みんな喜んでいる。

「わくわく・どきどき」7月の学校生活風景

◇全校朝会(7月2日)

7月2日(月)の全校朝会で子どもたちの作った「市民あいさつ運動」に関する標語を紹介しました。各学年から選ばれた計30人の標語はどれも明るく心に残る素敵な標語でした。この標語は学校を囲うフェンスに掲示する予定です。校内から校区へとあいさつの輪が広がっていくメッセージになるといいです。

応募した標語の中から次の2点が市の入選に選ばれました。おめでとうございます!

おはようほ ぼくのこころの あさごはん
1年 阿久根 碧

友だちと あいさつする顔 すてきです

4年 坂元 奏太

◇五校あいさつ運動(上竜尾町)

9日(月)から五校あいさつ運動が始まりました。今回は、大龍小学校正門に五校の児童会、生徒会の児童生徒が集まり、あいさつ運動を行いました。近隣の小学校・中学校・高等学校の児童生徒が大龍小の子どもたちに元気なあいさつをして、さわやかな朝のあいさつを響かせてくれました。



◇海開き

10日(火)、大龍小5年生が磯海水浴場の海開きに参加しました。清水小5年生も参加する中、今年は大龍小の子どもたちが誓いの言葉を述べました。緊張と責任を感じながらしっかりとした態度で臨むことができました。子どもたちは、海で泳ぐことで海水のしょっぱさや水に浮く感じなど、プールとは違う感覚をととても楽しんでいました。



◇「西郷さんってどんな人？」in 仙巖園

5年生の子どもたちが、総合的な学習の時間に「西郷隆盛」について調べ、パンフレットを作成する学習を行ってきました。そして、10日(火)に仙巖園へ行き、自分たちで作ったパンフレットを使って「西郷隆盛」について観光客の方々に紹介するガイド学習を行いました。仙巖園の方々や観光客の方々など、様々な方々との交流を通して、充実した学習を行うことができました。不安や期待の中、子どもたちは、立ち止まって説明を聞いてもらい、自分たちで作ったパンフレットを受け取っていただき、とても満足していました。



◇朝陽第二小学校から作品が届きました

本校と姉妹校である、山形県鶴岡市立朝陽第二小学校から作品が届きました。各学年毎に年間2回の作品の交換を通じて交流を深めています。本校の児童も作品が届くと遠い鶴岡のことを想像しながら夢中で見ていました。



◇陶芸教室(6年)

7月14日(月)に日置南洲窯の西郷隆文さん、他計3名の陶芸家の方々を招いて6年生が陶芸教室を行いました。去年から始めた試みで、卒業制作を兼ね、11月の校区文化祭への出品を目指して薩摩焼にチャレンジしました。西郷隆盛の曾孫の隆文さんに直接御指導を受けるとあって、子どもたちも緊張しながら熱心に世界に一つしかない自作のお椀や皿を作りました。焼き上がりがとっても楽しみです。



南日本新聞「若い目」に載りました

説得力のある発表がしたい

大龍小学校6年 滝沢小夏

私は、児童総会に参加して思ったことがあります。それは「発表」のことです。私も手を挙げて発表したのですが、自分の考えをうまくまとめて伝えることができませんでした。大勢のみんなの前でしゃべると緊張してしまい、頭の中に浮かんでいたことが一瞬にして消えてしまったのです。

教室にもどり、学級で児童総会の反省をしました。私は、自分の考えを上手に話せるようになるには、まず発表する前に自分の考えを筋道立てて整理し、次に説得力のある言葉を使うことが大事だと気付きました。すると一つの言葉が浮かびました。それは「低学年と交流」という言葉です。この言葉を使えば、私の考えがみんなに伝わる気がしました。

それをまとめてみると、こうなります。

「私は6年2組の提案に賛成です。それは低学年と交流できるレクリエーションをすれば、私たち6年生も他の学年のみんなも低学年の顔や名前を覚え、一緒に遊ぶ時間も増えていくと思うからです。そうなれば、学年を超えてみんなで遊ぶことが多くなり、それが楽しくなって、今以上に大龍小学校が笑顔でいっぱいになると思います。」

これを、自分の気持ちを落ち着かせて言えば良いと思いました。私は児童総会に参加した後に、自分の発表を振り返ったことで、相手に分かりやすく自分にも納得のいく発表の仕方について深く考えることができました。しっかりとまとまった説得力のある意見を言えたら、みんながあこがれるような6年生になれるかな。そんな6年生になるために、授業中に発表するときも、説得力のある言葉を使うように心がけていきたいです。

8月・9月の主な行事予定

【8月】

- 1日(水) 【出校日】全校朝会、学級活動
- 5日(日) あいご会中央ブロック大会(大龍小)
- 11日(土) 山の日
- 19日(日) PTA奉仕作業
- 21日(火) 【出校日】全校朝会、学級活動

【9月】 ※にこにこタイム：朝の活動を使った運動会練習

- 3日(月) 学級タイム、始業式、PTAあいさつ運動、いじめ問題を考える週間(～7日) ISO強調週間(～7日)
- 4日(火) にこにこタイム(～8日)、委員会活動⑦
- 5日(水) 第3回PTA理事会
- 6日(木) PTA懇談会(低・中・高)
- 7日(金) 歯の日、教育面談
- 8日(土) 土曜授業
- 10日(月) 学級タイム、安全の日、ベルマークの日
- 11日(火) にこにこタイム(～14日)、運動会練習①
- 12日(水) 緊急時避難訓練(地震・津波)
- 13日(木) 委員会活動⑧(代表・児童保健)
- 14日(金) 交流の日、教育面談
- 15日(土) 第1回ベルマーク集計日
- 17日(月) 敬老の日
- 18日(火) 学級タイム
- 19日(水) にこにこタイム(～22日)、食育の日、運動会練習②
- 20日(木) クラブ活動⑥
- 23日(日) 秋分の日 セゴドンのエンコ、長田中・清水中 体育大会
- 24日(月) 振替休日
- 25日(火) にこにこタイム(～29日)、運動会練習③(1・2校時)
- 26日(水) 鹿児島大学教職基礎研修(学校体験：6名)(～28日)
- 27日(木) 運動会準備(高学年、5・6校時)
- 28日(金) 運動会準備予備日
- 30日(日) **秋季大運動会**

校長室にいらっしやい給食

7月18日・19日の2日間にかけて、特別支援学級の子どもたちを校長室に招いて「校長室にいらっしやい給食」を行いました。

子どもたちは、校長室の大きなテーブルで給食を食べるのが新鮮で、とても楽しい雰囲気でお食事ができました。

めあてに向かって頑張り、確かな成長を見せてくれた特別支援学級の子どもたち一人一人に、校長先生からメッセージが渡されました。2学期の更なる成長を期待しています。



大龍歴史資料館(仮称)の整備について

7月17日に北校舎3階に整備予定の「大龍歴史資料館(仮称)」(歴史資料室)について、元大龍小校長の山田恭久先生をはじめ、計3名の外部協力者の方々に整備計画等を協議していただきました。大龍の地の成り立ち、学校の歴史、西郷隆盛、東郷平八郎について(特に東郷平八郎関係)など部屋のコンセプトについて語る必要があることを確認しました。7月24日に物品を確認していただき、8月19日のPTA奉仕作業で物品移動を行う予定です。その際はPTAの方々にも御協力をよろしくお願い致します。



